

令和7年8月1日



相談室からのお手紙（8月号）

愛媛県立松山中央高等学校

毎日暑い日が続きますね。夏休みに入る前の小中学生が、日傘をさして、重いカバンを背負ってフウフウと真っ赤な顔で歩いているのを見かけました。昔とは違う近年の夏の厳しさを痛感します。皆さんは、どんな夏休みを過ごしているでしょうか。

先日、高校の部活動のOB会をしました。同級生だった彼らが会うたびに話すのは、「四万十川まで自転車の旅～人生で一番ひどかった経験～」です。夏休みに入って「ちょっと一緒に自転車で行こうや」の誘いに軽い気持ちで出かけてみたら片道130キロ。持ち物は二人でお米2～3合、醤油、飯盒、ビニール袋のみ。お金もなく、水もなし。当時はスマホもありません。水は山の湧き水を使います。川に入って捕まえて、お米と一緒に炊いたエビが、本当に美味しかったこと。四万十川では、河原の石の上に葦を切って並べ、ビニール袋に入って野宿をしていたら、すごい数の大きな蚊に襲われ、服の上からも刺されてほとんど寝られなかったこと。夜中2時に雷が聞こえ、「起きろ！ 増水するかもしれない。逃げるぞ！」と起こされて退散。激しい雷雨の中、ビニール袋をかぶり、全身ずぶ濡れで真っ暗闇の山道を走り、家に辿り着くまで食べ物もない状態だったこと。松山中央高校ステッカーを貼った自転車でよく頑張ったものです。古き良き時代の思い出です。

振り返ってみると、私は人生において「冒険」が大事だと思うのです。挑戦と発見と工夫、応用力や判断力、達成感と経験が得られるから。二度とやりたくないほど散々な経験でも、大冒険は、人生の中で宝物のような思い出に変わるのでしょう。今年の秋、友人たちは、もう一度同じルートで、道中の思い出を見つけながら自転車で四万十川に行こうと計画していました。私は、そのお土産話がとても楽しみです。

スクールカウンセラー 岡本 綾

★スクールカウンセラー来校予定日（13：30～17：30）

8月26日（火）・28日（木）

9月 2日（火）・ 9日（火）・11日（木）・16日（火）・18日（木）

25日（木）・30日（火）



「夏休みを楽しもう！」

夏休みが始まり2週間が過ぎようとしています。夏季ゼミや部活動などで忙しい毎日を送る松山中央高校の生徒の皆さんは、8月の限られた期間が短い夏休みかもしれませんね。

今年は、梅雨明けが例年より早く、梅雨が明けた途端、晴天が続きました。7月前半は、いつもの年なら、我が家の庭にうるさいほど響くセミの声が聞こえてきませんでした。セミの声を少しうるさく感じたこともありましたが、聞こえてこないとなると、「セミも羽化する時期に戸惑っているのかなあ」と心配になりました。しかし、夏休みが始まるころになると、いつものようにセミの声がにぎやかに聞こえ始め、夏休みの訪れを教えてくれるようにセミの声が響く毎日です。

夏休みの魅力は、何ととっても様々な経験ができることです。今年の夏は、どんな計画がありますか。家族で共に過ごす時間、人との出会い・再会、旅行、やりたかったことができる時間、などなど、心と体をリフレッシュさせてくださいね。

夏休みを安全で、楽しく、元気に過ごしてほしいと思います。そして、学校に出てきたときには、皆さんが経験したことを学校生活に活かしてくださいね。

教育相談課 Y

